

ふれあい 学習

交通事故に遭わないために



4月18日、妹背牛小学校にて、交通安全について学ぶあおぞら教室が行われました。まず妹背牛警察官駐在所長から「交通事故に遭うと痛いだけではすみません。命を落としてしまう可能性があります。命を落とすと、将来の夢を叶えることができません」と交通事故の恐ろしさについて説明。続いてビデオを見ながら横断歩道の正しい渡り方や自転車の正しい走行箇所、運転方法など交通事故に遭わないための方法を学んだあと、校舎前の手押し信号付き横断歩道での実地練習も行いました。

住民に火災予防を呼びかけ

春先は特に空気が乾燥し火災が発生しやすい時期。このため、地域住民の火災予防に対する意識を高めようと、4月23日春の火災予防運動の一環で防火パレードと火防査察が行われました。



防火パレードでは消防車やタンクローリーなど計7台の車両が「火の用心」の旗を掲げ、町内一円を走行しながら街頭啓発。午後からの火防査察では、消防団員・職員、町内火防委員らが市街地の一般住宅を訪問して直接防火を呼びかけました。

雪山の上で鯉のぼりあげ

4月19日、妹背牛小学校にて鯉のぼりあげの行事が行われました。まだ学校の正面に残る雪山の上で行われた鯉のぼりあげ。今年は抜けるような青空の下で行われ、児童たちとお手伝いに来たPTAの方々によってあげられた約40匹の鯉たちは、暖かな太陽に照らされながら気持ちよさそうに春の空を泳ぎます。見上げる児童たちは瞳を輝かせ、笑顔と歓声につつまれた鯉のぼりあげとなりました。



子どもの日はペペルで

5月3～5日、妹背牛温泉ペペルでは小学生の入館料が無料の子どもの日イベントが開かれました。甘い香りが広がるロビーには、綿あめ、ポップコーン、やきとりの屋台が登場。中でも5種類の味に分かれた色とりどりの綿あめ

は子どもたちに大人気、出来たてのまだ温かい綿あめをおいしそうにほ



おぼっていました。看板ロボットのベッパー君も、たくさん訪れる親子連れや、綿あめをほおぼる子どもたちに、心なしか喜びの表情を浮かべているようでした。

パークゴルフ場オープン



4月28日「遊水公園うららパークゴルフ場」がオープンしました。気温も低く、青空とはいきませんでしたが、当日はこの日を待ちわびたパークゴルフ愛好者が町内外から来場しました。場内にはボールを叩くクラブの心地よい音や歓声が響き渡り、愛好者の方々は、待ちに待ったパークゴルフ場のオープンに喜びの表情を浮かべ、久々となるプレーを楽しみました。

自転車で世界一周旅行のフランス人家族が来町

この家族はフランス国籍のピエール・ジャンさんと奥さんのアンヌローさん、そして旅の途中にネパールで生まれたマエリーちゃん。ピエールさんはアンヌローさんと共に「世界の文化や地域性を肌で感じたい」と3年前に自転車の旅に出発。すでに中東・中国・東南アジアなど36カ国を経て、5月初めから道内各地を巡っています。10日には本町を訪れ、役場庁舎前で休憩した際に、田中町長と互いのお国柄や旅の思い出などを語りあいました。ピエールさん自作の自転車はハンドル前にベビーベッドやソーラーパネルを取り付けたもの。すでに走行距離28,000

kmを超え、さらに北米・南米・アフリカと、家族の夢を乗せた長い旅が続きます。



人と「縁」をつなぐオレンジカフェ

5月13日、わかち愛もせうしひろばにて、オレンジカフェ縁（えにし）がオープンしました。これは認知症について当事者だけでなく、周りの方々の理解を深め支えていくことを目的としています。当日は町民15名程が参加、先ず温かい紅茶やジュースを飲みながら互いに自己紹介などで歓談。認知症地域支援推進員の金子智津子さんの指導で、認知症予防に効果があると言われていた「じゅげむ」を参加者全員で声に出して読んだあと、認知症に関わる寸劇やO×クイズなどを楽しみながら学びました。オレンジカフェ縁は、毎月

第2日曜日に開催、参加料100円で誰でも自由に参加できます。

